



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社アカツキ 上場取引所 東  
コード番号 3932 URL <https://aktsk.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 香田 哲朗  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 石倉 彦彦 TEL 03 (5422) 7757  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	4,131	14.4	△775	—	△325	—	△271	—
2024年3月期第1四半期	3,610	△30.8	△802	—	△722	—	△709	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △159百万円 (—%) 2024年3月期第1四半期 △604百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△18.84	—
2024年3月期第1四半期	△56.62	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	51,237	39,504	76.6
2024年3月期	52,043	40,211	76.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 39,247百万円 2024年3月期 39,983百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	40.00	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
2. 2025年3月期の期末配当につきましては、現時点で業績予想が困難であることから未定としております。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

当社グループは、ゲーム事業の短期的な事業環境が激しく変化する不確定要素が多いことに加え、コミック事業についても積極的に挑戦していく方針であり、適正かつ合理的な数値の算出が非常に困難であります。そのため、今後につきましては、四半期毎の決算や事業の概況の適時な開示に努めることにより、通期の業績予想については開示しない方針とさせていただきます。詳細につきましては、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	14,517,100株	2024年3月期	14,516,100株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	97,486株	2024年3月期	97,463株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	14,419,359株	2024年3月期1Q	12,534,037株

- (注) 1. 株式給付信託 (J-ESOP) により信託口が保有する当社株式 (2025年3月期1Q : 32,156株、2024年3月期 : 32,156株) を、自己株式に含めて記載しております。
2. 株式給付信託 (J-ESOP) により信託口が保有する当社株式 (2025年3月期1Q : 32,156株、2024年3月期1Q : 50,077株) を期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社の決算補足説明資料は決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用や所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されております。ただし、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクに十分注意する必要があります。

そのような状況の中、当社グループが属するゲーム業界を取り巻く環境につきましては、2023年の世界のゲーム市場の収益はマクロ経済が厳しい状況にもかかわらず、前年比で2.6%増加の1,877億ドルと予測されており、その中でも最も大きな割合を占めているモバイルゲームにつきましては前年比0.8%増の926億ドルの市場規模へ成長することが見込まれております。また2026年までに世界のゲーム市場の収益は2,124億ドルに成長することが見込まれているため、引き続きグローバルで成長し続ける業界であると考えられております。(出典:Newzoo「Global Games Market Forecast」)

また、コミック事業を取り巻く環境につきましては、2023年の国内コミック市場全体で前年比2.5%増の6,937億円と過去最高を更新しております。その中でも電子コミック市場は巣ごもり需要終息の影響で伸び率は縮小しているものの、前年比7.8%増の4,830億円と成長しております。(出典:公益社団法人全国出版協会「出版指標」)さらに、当社グループが提供を始めた縦読みフルカラーコミック「ウェブトゥーン」の世界市場は、2029年に約3兆円規模にまで成長すると予想されております。(出典:QYResearch)

このような環境の中、当社グループは今後、さらなる成長を加速させるため、責任と権限を一体化して事業を運営するベンチャーグループを目指し、2023年3月期においてゲーム事業とコミック事業の分社化及びDawn Capital 1号投資事業有限責任組合の組成等を進め、国内市場に閉じたプロジェクトへの事業投資を凍結し、グローバルポテンシャルを持つ大型プロジェクトへ集中投資することで、長期間の継続運営で大きなリターンを目指してまいりました。当社グループの主力事業であるゲーム事業では、既存タイトルの堅実な運用の他、3D×マルチデバイス×多言語を見据えた大型プロジェクトにリソースの大部分を集中させ、新規開発タイトルへの積極的な投資を進めてまいりました。また、コミック事業では当初予算内で検証フェーズを継続し、作品制作および他社プラットフォームでの販売強化を優先する方針のなか、有名クリエイターとの協業によるオリジナル作品の制作を進めてまいりました。また、2023年12月には株式会社NTTドコモが主体となる海外向け電子コミック配信サービスの提供に向けた業務提携契約を締結し、2024年秋に米国でのサービス提供開始を目指しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,131百万円(前年同期比14.4%増)、営業損失775百万円(前年同期は営業損失802百万円)、経常損失325百万円(前年同期は経常損失722百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失271百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失709百万円)となっております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (ゲーム事業)

当社グループのゲーム事業につきましては、より高いクオリティとユーザー体験にこだわり、タイトルを厳選して開発・運用していく方針の下、既存タイトルの堅実な運用と、3D×マルチデバイス×多言語を見据えた大型プロジェクトにリソースの大部分を集中させ、新規開発タイトルへの積極的な投資を進めてまいりました。主力タイトルである株式会社バンダイナムコエンターテインメントとの協業タイトル「ドラゴンボールZ ドッカンバトル」につきましては、国内版では大型キャンペーンが盛況で、ストアセールスランキング(注)1位を獲得しました。また、株式会社スクウェア・エニックスとの協業タイトル「ロマンシング サガ リ・ユニバース」では、5.5周年イベントの開催や同IPのゲームコンテンツとのコラボ施策が盛況で、コアファンを惹きつける長期目線での安定運営を継続してまいりました。また、株式会社コーエーテクモゲームスとの協業タイトル「レスレリアーナのアトリエ～忘れられた錬金術と極夜の解放者～」では、メインストーリーの更新や複数イベント開催等の施策を実施してまいりました。それらの結果、売上高については前年同期比で増収となったものの、新規タイトル開発の加速に伴い研究開発費が増加した影響を受けて減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高3,739百万円(前年同期比11.6%増)、セグメント損失627百万円(前年同期はセグメント損失427百万円)となっております。

(注) ストアセールスランキング: App Store またはGoogle Playのセールスランキング

(コミック事業)

当社グループのコミック事業につきましては、当初予算内で引続き検証フェーズを継続し、作品制作および他社プラットフォームでの販売強化を優先する方針のなか、有名クリエイターと協業によるオリジナル作品の制作に注力し、複数タイトルの連載を開始するなど積極的な投資を行っております。また、オリジナル作品の他社プラットフォームへの展開の推進に伴って作品の販売が堅調に推移し売上高が伸長しており、海外向け電子コミック配信サービスの提供に向けた業務受託も業績に貢献しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高276百万円（前年同期比56.4%増）、セグメント損失2百万円（前年同期はセグメント損失120百万円）となっております。

(その他)

当社グループのその他事業にはIPソリューション事業等が含まれております。当第1四半期連結累計期間においては、売上高115百万円（前年同期比40.6%増）、セグメント損失70百万円（前年同期はセグメント損失85百万円）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて805百万円減少し51,237百万円となりました。主な要因として、現金及び預金の増加1,332百万円及び投資有価証券の増加344百万円があった一方で、売掛金及び契約資産の回収等による減少2,345百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて98百万円減少し11,733百万円となりました。主な要因として買掛金の増加130百万円があった一方で、賞与引当金の減少335百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて706百万円減少し39,504百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上271百万円及び剰余金の配当578百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、ゲーム事業の短期的な事業環境が激しく変化する不確定要素が多いことに加え、コミック事業についても積極的に挑戦していく方針であり、適正かつ合理的な数値の算出が非常に困難であるため、2025年3月期の業績見通しにつきましては開示しない方針とさせていただきます。

なお、業績見通しが適正かつ合理的に算出できる状況になりましたら、適時に開示する方針でございます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,964	32,297
売掛金及び契約資産	5,024	2,679
仕掛品	626	654
その他	2,767	2,673
流動資産合計	39,383	38,305
固定資産		
有形固定資産	534	508
無形固定資産		
その他	6	5
無形固定資産合計	6	5
投資その他の資産		
投資有価証券	10,474	10,819
その他	1,644	1,599
投資その他の資産合計	12,118	12,418
固定資産合計	12,659	12,932
資産合計	52,043	51,237
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,188	1,318
1年内償還予定の社債	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	—	1,000
未払法人税等	65	89
賞与引当金	335	—
その他	2,531	2,809
流動負債合計	5,121	6,218
固定負債		
社債	2,000	2,000
長期借入金	4,100	3,100
その他	610	414
固定負債合計	6,710	5,514
負債合計	11,832	11,733
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,779	2,780
資本剰余金	2,778	2,779
利益剰余金	34,243	33,393
自己株式	△261	△261
株主資本合計	39,540	38,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	273	371
為替換算調整勘定	169	183
その他の包括利益累計額合計	442	555
新株予約権	209	238
非支配株主持分	18	18
純資産合計	40,211	39,504
負債純資産合計	52,043	51,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,610	4,131
売上原価	2,259	2,660
売上総利益	1,350	1,470
販売費及び一般管理費	2,152	2,246
営業損失(△)	△802	△775
営業外収益		
受取利息	2	2
為替差益	252	221
暗号資産売却益	—	435
その他	4	26
営業外収益合計	259	685
営業外費用		
支払利息	16	13
投資事業組合運用損	32	106
暗号資産評価損	124	114
その他	5	0
営業外費用合計	179	235
経常損失(△)	△722	△325
特別利益		
投資有価証券売却益	5	252
特別利益合計	5	252
特別損失		
固定資産除却損	15	—
投資有価証券清算損	—	1
特別損失合計	15	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△732	△74
法人税等	△22	197
四半期純損失(△)	△709	△271
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△709	△271

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△709	△271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72	98
為替換算調整勘定	33	14
その他の包括利益合計	105	112
四半期包括利益	△604	△159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△604	△159
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	33百万円	32百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	ゲーム	コミック	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	3,351	176	3,528	81	3,610	—	3,610
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,351	176	3,528	81	3,610	—	3,610
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	0	16	1	17	△17	—
計	3,366	177	3,544	83	3,627	△17	3,610
セグメント損失(△)	△427	△120	△547	△85	△633	△169	△802

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IPソリューション事業等を含んでおります。

2. セグメント損失の調整額△169百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△174百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	ゲーム	コミック	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	3,739	276	4,016	115	4,131	—	4,131
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,739	276	4,016	115	4,131	—	4,131
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	1	11	8	19	△19	—
計	3,749	278	4,027	123	4,150	△19	4,131
セグメント損失(△)	△627	△2	△630	△70	△701	△73	△775

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IPソリューション事業等を含んでおります。

2. セグメント損失の調整額△73百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△81百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。